

第7回 沖縄21世紀ビジョン

～さあ、再び世界へ～

奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島の  
世界自然遺産登録の「延期」勧告と再出発

世界自然遺産登録を目指すやんばる地域及び西表島

日本最大級の亜熱帯照葉樹林が広がり、ヤンバルクイナをはじめとする希少な動植物が生息・生育するやんばる地域、そして広大なマングローブ林や原生林を有し、イリオモテヤマネコを頂点とする生物多様性豊かな生態系が形成されている西表島は、鹿児島県の奄美大島及び徳之島とともに、世界自然遺産登録を目指しています。



世界自然遺産登録に向けたPR

遺産登録に向けた昨年の現地調査

平成29年2月に世界遺産登録に係る推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出され、同年10月には諮問機関IUCN(国際自然保護連合)の専門家による現地調査が行われました。

やんばる地域では、亜熱帯照葉樹林やヤンバルクイナの保護関係施設の視察、夜間の密猟・盗採パトロールへの同行等が行われ、西表島では、イリオモテヤマネコの生息環

境や交通事故防止対策の視察等が行われ、環境省、沖縄県、地元関係団体等から様々な取組について説明を行いました。



平成29年10月のIUCN専門家による現地視察(西表島)

IUCN(国際自然保護連合)による「延期」勧告

平成30年5月4日、IUCNの評価結果として日本政府に「延期」が適当との勧告がなされ、同年6月に推薦を一旦取り下げました。延期の主な理由は次のとおりです。

- ①分断された小規模な区域が複数含まれていること。
- ②北部訓練場返還地が推薦地に含まれていないこと。

再び登録に向けて出発

これらの課題解決に向けて、世界自然遺産候補地科学委員会における有識者からの助言等を踏まえ、国において推薦区域の見直しを行っています。

IUCNからの勧告は「延期」であったものの、勧告に沿って修正を行えば、世界遺産の価値に該当する可能性があると評価されており、確実かつ可能な限り早期な遺産登録に向けて、現在、関係機関が一丸となって再スタートを切っています。

世界自然遺産登録はゴールではありません。この取組をきっかけに、これからもやんばる地域と西表島の自然環境の保全に取り組んでいきます。

11月は「伝統的工芸品月間」です!

工芸品の宝庫、沖縄

沖縄県には、長い歴史・風土の中で育まれた多彩で魅力的な工芸品が溢れています。国の指定を受けた伝統工芸品が15品あり、これは全国4位の数です。中でも染織物が13品目で、染織物に限ると全国1位となっています。

国では、伝統的工芸品に対する理解とその一層の普及を目指し、昭和59年から毎年11月を伝統的工芸品月間と定め、全国各地において普及啓発事業を行っています。

県内でも、本月間に市町村や事業者により様々なイベントが実施され、沖縄県でも「第41回沖縄県工芸公募展」を開催しますのでぜひご来場ください。

国指定「伝統的工芸品」一覧

1 久米島紬	9 琉球漆器
2 宮古上布	10 与那国織
3 読谷山花織	11 喜如嘉の芭蕉布
4 読谷山ミンサー	12 八重山上布
5 壺屋焼	13 八重山ミンサー
6 琉球絣	14 知花花織
7 首里織	15 南風原花織
8 琉球びんがた	(平成30年10月31日時点)

第41回沖縄県工芸公募展

伝統的な工芸品の良さに加え、新たな機能美や付加価値を備えた作品を幅広く募集し、コンクールを実施することにより、生産者の意欲の高揚、技術、デザイン開発力の向上を図っています。



日時 平成30年11月1日(木)～4日(日) 10:00～18:00  
(※1日は11:00～18:00、4日は10:00～16:00)  
場所 沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー1・2・3

その他、工芸関係イベント情報

- ◆第42回首里織展  
日時 平成30年11月15日(木)▶18日(日)  
場所 那覇市ぶんかてんぶす館 3階ギャラリー
- ◆第42回琉球びんがた組合展  
日時 平成30年11月22日(木)▶25日(日)  
場所 那覇市ぶんかてんぶす館 3階ギャラリー
- ◆第39回壺屋陶器まつり  
日時 平成30年11月23日(金)▶25日(日)  
場所 那覇市立壺屋小学校

その他、工芸産業を元気にするため、こんな事業も行っています!

担い手の育成

沖縄の工芸品は、ほとんどが手仕事により生産され、その技術・技法の習得には長い期間を要し、後継者の確保が課題となっています。県では、従事者の確保及び育成を図ることを目的に、各産地で実施している後継者育成事業への補助及び各種人材育成事業を実施し、沖縄の伝統技術を学び、工芸産業を担う人材の育成を支援しています。



びんがた研修

新たな製品づくり

現代のニーズにマッチした工芸品を生み出し、新たな需要を開拓していくため、意欲のある事業者の発掘と製品製作の支援を行っています。

昨年度は、6事業者が本事業を活用し、48アイテムの製品が開発されています。



製品展示会

問い合わせ

自然保護課 電話:098-866-2243 FAX:098-866-2855

広告

問い合わせ

ものづくり振興課 電話:098-866-2337 FAX:098-866-2447